

東京23区では、今日夜のはじめ頃から明日にかけて**南西の風が強く吹き波も高くなり、小笠原諸島では、引き続き今日夕方にかけて波やうねりが高いでしょう。強風や高波に注意してください。**

三陸沖と四国の南には高気圧があつてともに東に移動しています。一方、中国東北区には前線を伴った低気圧があつて東に進んでいます。

今日は、東日本は高気圧に覆われる見込みです。

このため、関東甲信地方は全般に晴れで夕方からは雲の広がるところがあるでしょう。

明日は、低気圧が沿海州からオホーツク海に進み、寒冷前線が本州を通過するでしょう。

このため、関東甲信地方は全般に曇りや曇り時々晴れですが、長野県では昼前から夕方にかけて雨や雪の降る所があるでしょう。関東地方南部や茨城県では、夕方から夜にかけて一時的に雨の降る所があるでしょう。

【 土日のお天気 】

	13日 (Sat)		14日 (Sun)	
	天気	最高/最低	天気	最高/最低
札幌	☉//*	5/ 2	☉/ *	0/- 4
秋田	☉//●	6/ 4	☉→○	5/ 0
仙台	○//☉	10/ 4	○	8/- 2
宇都宮	☉//○	17/ 3	○//☉	12/ 1
東京	☉//○	19/ 9	○//☉	13/ 6
横浜	☉	19/ 10	○//☉	12/ 6
長野	☉/ ●	9/ 5	○//☉	10/- 1
静岡	☉→○	21/ 11	○	14/ 7
名古屋	☉//○	17/ 9	○	15/ 3
新潟	☉//●	7/ 6	☉→○	7/ 2
金沢	●→☉	10/ 8	☉→○	9/ 2
大阪	☉//○	16/ 10	○//☉	15/ 4
神戸	☉//○	15/ 11	○//☉	14/ 5
広島	☉→○	17/ 10	○//☉	15/ 3
松江	☉	11/ 7	○//☉	14/ 2
高松	☉	15/ 9	○//☉	14/ 5
高知	☉	19/ 10	○//☉	17/ 9
福岡	☉/ ●	13/ 11	☉//○	17/ 6
鹿児島	☉	21/ 14	☉	20/ 14
那覇	○	23/ 18	☉→●	24/ 19

(○:晴れ, ☉:くもり, ●:雨, \*:雪→:のち, //:時々, /:一時)

【 お天気モード 】

## 「 **世界の水道の状況** 」 2010年3月8日の日記より編集

厚生労働省は3月4日、「水道分野の国際貢献」を発表しました。

### 【 **概要** 】

1. 水道は、国や地域を問わず、公衆衛生の向上や生活環境の改善に欠くことができない社会基盤であり、人類の生存と発展に重要な役割を果たすものである。
2. 世界では未だ約9億人（2006年）が清浄な飲料水の供給を受けられない状況にある。
3. 国連ミレニアム開発目標（MDGs）では、2015年までに安全な飲料水を利用できない人口の割合を半減することが掲げられている。

### 【 **安全な水へのアクセスが可能な人口** 】

	(1990年)	(2006年)
◇開発途上国全体	71%	→ 84%
◇サブ・サハラ・アフリカ	49%	→ 58%
◇オセアニア	51%	→ 50%

### 【 **衛生施設へのアクセスが可能な人口** 】

	(1990年)	(2006年)
開発途上国全体	41%	→ 53%

### 【 **我が国の水道分野の国際協力** 】

1. 我が国の水と衛生分野の援助政策である水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ(2006)では、開発途上国における政府の組織、政策、制度及び情報データの整備や人材育成、整備されたインフラの適切な維持管理・運営のための水道事業者の能力の向上を重視するとされている。
2. 我が国の水道分野における政府開発援助は、二国間援助や国際機関への活動資金や人材の拠出など様々な形で進められているが、二国間援助のうち、「贈与」にあたる専門家派遣などの技術協力などがある。
3. 水道分野の国際協力のうち「贈与」に係る事業の大部分は独立行政法人国際協力機構 (JICA)によって実施されている。

### 【 **感想** 】

我が国では、日常生活で一部の水を井戸水で利用していることはあると思うが、ほぼ、100%の家庭において水道が使用されているか、利用できる環境が整備されている。いつでもだれでもどこでも空気の存在と同様に意識しないでも利用できる社会インフラとなっている。

そのような現状が背景にあり、「**水はただ**」という言葉さえあるほど。実際は、一昨年原油の高騰に伴って、多くの市町村で水道料金は値上げした。それでも、ペットボトルの〇〇水をわざわざ購入しなくても、安価で安全安心な飲料水を腹いっぱい飲めるというのが日本の水道の実態。

このことを、当たり前として人々は生活しているのだが、同省の発表を見て、改めて。我が国の水事情が恵まれていることを感じる。

本発表で目に付いたのは、オセアニアの現状だ。飲料水の不足ということでは、アフリカが思い起こされるが、実はそうではなく、オセアニアの方がはるかに劣悪な環境にあるということ。しかも、わずかといえ、1990年から2006年で、安全な水道施設へのアクセスが1ポイントマイナスになっていることに驚きを感じる。

オセアニアといえ、多くが島国か島嶼地域であり、水の貯留する森林山野及び河川溪谷などの地形や土地が少なく水道環境に不利な条件になっていることによるのだろう。いわゆる水の歩留まりが良くないということ。空気がおいしくても飲料水がなければ、人は暮らして行けない。たかが水されど水。

## 【 e健康生活 】

### 「 **お茶の油で化粧品** 」 2010年1月29日の日記より

飲む、食べるに次いで、今度はお茶が化粧品の原料になりました。1月28日、都内で発表会が行われた。

## 【 概要 】

1. 初めて国産茶の種油を使い、保湿力が高い商品化に成功した。
2. 「**身土不二(身体と環境は密接につながっている)**」という言葉があるように、国産の油が日本人の肌に一番合うという自信作。
3. 新商品は、化粧落としのクレンジングオイルと洗顔石鹸の2品。
4. 茶の種の油脂含有率は25～30%。人間の肌に必要なオレイン酸などの脂肪酸が豊富で保湿力が高い。

## 【 開発の背景 】

1. 茶産地である**静岡県のJAハイナン**から買い取る。1、2月になると、10アール当たり2～5キロの種が落果するが、利用価値がなく、茶畑に放置されていた。
2. その種を使うことで、「**生産者の新たな収入につながるのではないか**」(同JA)。
3. 通常、茶の木は、種が付くと傷んでしまい、茶葉の品質が落ちるため、生産者は種を付けないように窒素肥料を多く施用していた。近年は肥料価格の高騰で大量に入れられないので、管理が難しくなり、種を付けてしまう茶園も増えている。

## 【 参加者の声 】

茶価の低迷が続く中、「全く違う業界からの新たな活用法で、再び茶にスポットが当たるといい」と期待を寄せる。

( 農業新聞1月29日 より編集 )

## 【 感想 】

窒素肥料の高騰が思わぬ化粧品開発のきっかけとなったという訳です。肥料を少なくする利点はいくつかあります。まず第一に、健康に良いということです。

7、8年前、静岡県茶業組合や県の農業試験場など現地調査したことがありました。当時、雨が降るとせつかく撒いた大量の農薬が流れてしまい、土壌を汚染することを懸念していました。土壌を汚染するほどの農薬が使われていたことを示した発言だった訳です。

これからは高齢者が増えてゆく社会です。今は少なくなりましたが、縁側で一服するには日本茶に限ります。縁側に代わって、中高年の仲良し夫婦が、団欒の一時に、お茶をたてて会話に花を咲かせるようなおいしいお茶の栽培を期待しています。私も、コーヒーよりもお茶が良いと思うこのごろです。

いずれにしろ、捨てられて省みられなかった食材が活用される事例には違いないと思います。身近に、省エネや資源を再評価する原料が、まだまだあることを気付かせていただきました。ありがとうございます。

## マイ・ソリューションのご案内 )

健康な体の基本は水素豊富水 [新元祖活性水素くん](#)

## 【 WISからのお知らせ 】

\*\*\*\*\* 天気で元気! \*\*\*\*\*

[世界初 「ソリューションする気象会社」](#)

防災メールなら [地震番](#)

<http://www.wis-x.co.jp/jishinban/jishinban.html>

[トータル節水システム](#) ( [経費節減効果NO1](#) )

[http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru\\_shouhin.htm#echoj](http://www.wis-x.co.jp/kachiaru/kachiaru_shouhin.htm#echoj)

たのしい競馬に [「馬場コンディション情報」](#)

<http://babacondition.sblo.jp/>

減災とセキュリティ 「ミスター防災」

<http://mrbosai.sblo.jp/>

取れたて安全・安心農産物 「直売所NOW」

<http://chokubaisho.sblo.jp/>

天気と健康のお話 「ウェザー&ビューティ」

<http://weatherandbeauty.sblo.jp/>

\*\*\*\*\*